

令和2年度第2回三重県医療審議会 議事概要

日時：令和2年12月21日（月）19：00～20：30

Cisco Webex Meetings

出席者：駒田委員（会長）、大杉委員、齋藤委員、竹上委員、竹田委員、谷口委員、内藤委員、二井委員、西井委員、西宮委員、菱沼委員、前田委員、山下委員

1 議事

各資料に基づき事務局が説明

- (1) Web会議システムを利用した会議の出席について
- (2) 第7次三重県医療計画の中間見直し（中間案）について
- (3) 地域医療構想の実現に向けた新たな病床機能の再編支援について

2 質疑等

- (1) Web会議システムを利用した会議の出席について（資料1）

⇒ 各委員から異議はなく、原案どおり承認された。

- (2) 第7次三重県医療計画の中間見直し（中間案）について（資料2）

- 医療計画の中間見直しのタイミングで地域医療構想については変えないとの理解でいいのか。

⇒ 地域医療構想については、国において議論されているところであり、少子高齢化などの事情に変化がないことから、これまでの議論の方向性は維持しつつ、地域で議論を進めていくことになろうかと思う。ただ、国から具体的なスケジュール等が示されていないことから、状況を見ながら対応していきたいと考えている。

- 感染症対策の部分で、検査機能や保健所の機能の充実などの医療を支える機能の充実についても検討いただきたい。

- (3) 地域医療構想の実現に向けた新たな病床機能の再編支援について（資料3）

- 今回の病床削減についての意見ではないが、地域医療構想は病床削減ありきではない。支援策が出て来て、今後病床削減がどんどん前面に出てくるのではないかと心配している。

⇒ 県としては病床削減ありきだとは考えていないため、給付金等の支援策を使って、病床をどんどん削減していこうという考えがあるわけではない。人口減少もあることから、一定の病床削減が俎上にあがってはくるが、一定程度のバッファーも必要だと考えているため、引き続き、各地域の調整会議等で丁寧に議論を進めていきたいと考えている。

○地域医療構想調整会議の役割が非常に重要で、各地域の状況を把握している先生方と十分に議論をしていただきたい。

⇒今回の病床削減と、削減への支援については、地域医療構想実現のために必要なものであることが承認された。

以上